

E 保健師（北保健センター 女性）

## 【質問】

### 1. 派遣された期間

2月11日（日）～ 2月15日（木）

### 2. 派遣された場所

能登町

### 3. 担当した業務内容

健康管理業務（避難所巡回・高齢者宅の個別訪問）

### 4. 派遣されたときの現地の状況

避難所 トイレ使用は可。ただし紙を流すことは不可  
個別宅 上下水使用不可。

### 5. 被災者の様子

かかりつけ医から受診はしてなくても電話診療等で、薬を処方されており、内服できている方が多かった。また、ききとりでは、被災がマシだった家族や親戚宅(他の能登半島、金沢等)に避難していることを聞くこともあった。

住民は性格的に非常に謙虚。個別訪問時は、私たちが遠方からきていることへ感謝されることもあった。

### 6. 避難所の様子

避難所で過ごす方は、一定安定していた。担当で日中まわった避難所は感染症の方おられず。

要支援者は、引き継ぎしながら経観している状況である。例えば、家族と要介護者が避難所を希望し、介護しながら過ごしている。元々ひとり暮らしで今回、施設に入る方向で行政が動き、施設入居まで避難所で過ごす予定の方など。

日中は、多くの方が買い物や自宅の片付け等で不在にされていた。

### 7. 現地で困ったこと

職員の現地宿泊地が移転(日本航空高等学校)し、移動距離が増えたこと。

また宿泊地はトイレが遠かったこと。

### 8. 派遣を終えて感想

いつ私たちが同様に被災してもおかしくないことを痛感。

能登町は、堺に比べのどかな街で、人口が少ないから住民をよく知っていて(つながり)よかった点もあるのかなと感じた。人口が多い堺で、どこまで把握しきれるのか……

人口規模が大きいがゆえの大変さが出てくるように感じた。

また、全国各地から派遣されてくる側の能登町の役所の方の前さばきの大変さも痛感した。